

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

神戸の地ビール

有限会社アイエヌインターナショナル



エールビールの味わいを日本でも

すっきりとした味わいで ビアパブ、レストラン向けの たる売りが好調

「日本にもドイツと同じような地ビール文化を根付かせたい」と代表取締役社長の中島郁夫さんが外資系製薬会社を脱サラし、神戸市北区に「六甲ビール」のブランドで醸造所をつくったのは1997年のこと。日本で主流のラガービールではなく、本場ヨーロッパで主流のホップや麦芽の味わいを残しやすいエールビールに着目しました。麦芽を粉砕せずにひき割る独自の方法与フレッシュな酵母を使うことにより、「六甲ビール」ならではのすっきりとキレのあるビールが生まれました。現在、「六甲ピルスナー」をはじめ10種類のラインアップをそろえています。

90年代後半の地ビールブームが過ぎ去り、全国で多くの醸造所が淘汰される中、質の高い醸造会社だけが生き残りました。「六甲ビール」は贈答用として大手百貨店などの販路を開拓し、瓶売りを増やしていきます。その売り方が変わったのは2年前、長男で専務の学さんが会社に加わってからのことです。ビールイベントに



麦芽を粉砕せずにひき割り

積極的に出店するうちに多様な人脈ができ、首都圏をはじめとする地ビール専門店やレストランへのたる売りが増えてきたのです。その一つがグランフロント大阪にある「世界のビール博物館」。世界各国から集めた250種類以上のビールが楽しめる同館で、日本のビールを代表して「六甲ビール」が扱われています。

今年2月、学さんは広島県の酒類総合研究所で本格的なビール講習を受け、業界で“常識”とされている製造、流通に関する考えが変わったそうです。「現在、首都圏を中心に地ビールがあらためて見直されています」。ブームではない定着を見込んで、今後、新たな視点で商品開発、販売方法を模索していくとのこと。その中には、「神戸市北区の特産であるイチゴやブドウを使った新たな商品開発」も入っています。

◎有限会社アイエヌインターナショナルの
神戸の地ビール

有限会社アイエヌインターナショナル／所在地：神戸市北区有野町有野351-1／代表取締役社長：中島郁夫
事業内容：地ビールの製造・販売
TEL 078-981-2130／URL <http://www.rokko-beer.com/>

編集後記

今号の「元気企業訪問」は、特殊梯子製作所を神戸市長田区に訪ねました。避難用梯子とあって緊急時にすぐに簡単に、しかも安全に使えなければなりません。製造から検査までの工程はすべて手作業で、まさに中小企業の強みを発揮できる商品分野だと実感しました。

JUMP

2014年6月号 平成26年5月30日発行
発行人：榎本輝彦 編集人：深田修司

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp/>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526